

平成 17 年 3 月 30 日  
(財)岐阜県産業経済振興センター

「中小製造業における技能者育成に関する調査研究」結果について

調査研究の趣旨

- ・ 岐阜県のものづくりを支えている中小企業では、技能者の高齢化、団塊の世代の引退等により、ものづくりの基盤が弱体化することが懸念されている。
- ・ 一方、中小企業にとって、技能者は企業の競争力を支える重要な要因であり、優れた技能者を育成することは企業の経営を左右する重要な経営課題である。
- ・ そこで、岐阜県中小製造業が技能者育成に取り組む際に参考となるよう、本調査研究を実施した。

調査研究結果のポイント

- ・ 技能者の基本的な機能は品質、価格、納期にあり、手さばき、検査・感知、設備操作といった技を修得するとともに、判断、改善・工夫といった知的能力を発揮することが求められている。
- ・ 生産現場の自動化、機械化、IT 化等の進展や経営環境の変化により、修得すべき技は変化、高度化している。さらに、多種変量生産時代への変化により、生産管理を自らの判断で行う多機能工が求められるようになってきている。
- ・ 岐阜県の製造業では、社内研修（座学と実習）や外部機関を活用した教育を実施するとともに、作業標準書、マニュアル等、技能を技術化することで、技能者の標準化を進めている事例がみられる。
- ・ また、高度な技能者のカン、コツを科学技術を活用して解明する取り組みを行い、高度な技能者への依存度を減らす取り組みもみられる。
- ・ 企業が技能者をコストではなく財産として大切にすることで、技能者の意欲向上と自主性を発揮することで、技能レベルの自律的なアップを進める企業もみられる。

担当者コメント

- ・ 中小製造業の技能者は単に加工という作業だけではなく、効率、コストダウン、製造方法の提案といった独自の知恵を生み出すことで、企業の競争優位を築くことが求められている。こうした優秀な技能者を育てるためには、経営者が管理という発想を捨て、自らの働き方を手本として示し、技能者の意欲を高めることで、自律的に育つようにすることが重要と考えられる。

\* 本調査研究の報告書は、4月1日に当センターのウェブサイトに掲載します。

【問い合わせ先】

(財)岐阜県産業経済振興センター 企画研究部 長尾尚訓

TEL : 058-277-1082 FAX : 058-277-1095 E-mail : nagao@gpc.pref.gifu.jp